

# なぜ人間は神様に会うことができないのでしょうか

あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、(エペソ2:1)

序論:根が抜けた木は幸せではなく、水から出た魚が幸せではないように、神様を離れた人間は、幸せではない生活を送るしかありません。

幸せではないのは、幼い時から始まって、ずっと進んでいきます。それなら、神様に会えば解決するのですが、なぜ人間は神様に会うことができないのでしょうか。

1. まず、人間がどんな状態で生まれるのかをわからなければなりません。

- 1) 初めから神様を離れて霊が死んだ状態で生まれます(エペソ2:1)。その結果、神様と交わることができないのです。
- 2) 霊的な身分は悪魔に属している、悪魔の子どもで生まれます。(エペソ2:2) その結果、運命と生年月日による運勢に縛られています。
- 3) 生まれながら、罪人の状態で生まれてきます(エペソ2:3)。その結果、御怒りを受け、永遠な御怒りである地獄に行くようになります。  
すなわち原罪を持っている人間として生まれるのです。



2. 人間は神様に会おうと努力します

- 1) 宗教をして、偶像を熱心におがみます。しかし、より一層、霊的問題は深刻になります(マタイ12:43~45)。
- 2) 熱心に考えて、真理を探してみようと思します(哲学)。しかし、むなしい、だましごとなのです。(コロサイ2:8)
- 3) 優しくて真実ならば良いだろうと思します。しかし、結局は、失敗してしまいます(イザヤ64:6)  
結局、人間は原罪を知らないから、もがいて努力するのです。



3. どのようにしなければならぬのでしょうか

- 1) まず、救われなければなりません。
- 2) 悪魔、罪、神様を離れた問題から抜け出さなければなりません。
- 3) 地獄の勢力から解放されなければなりません。

4. ところが、人間の努力では救われません。

- 1) 死んだ人が動くことができないように、死んだ霊が努力をしても、効果がありません。
- 2) 自分の努力、他の人の助け、どんな英雄の助けでも、死んだ霊を生かすことはできません。

5. 救いは神様の恵みです(エペソ2:7~8)

- 1) 神様を信じて会えるようになるために、イエス様が道を開きに来られました。
- 2) 神様の恵みは、イエス様を信じて受け入れるようにさせます。
- 3) イエス・キリストを受け入れれば、神様に会うようになって、私の中に聖霊が入ってきてくださいます。



結論: この時間、私に神様の救いの恵みが臨むようにお祈りしましょう。私を救われた神様の恵みに感謝しましょう。私の内に聖霊でおられるイエス様をいつも愛して味わいましょう。